

第 8 回小児脳腫瘍カンファレンス プログラム

開催日：2026 年 9 月 26 日（土）14：00～17：30

開催方法：Zoom によるライブ配信

開会の辞：当番世話人：埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 福岡 講平

第 1 部

I. 一般演題 14：00-15：12

発表 7 分（病理解説 2 分） 質疑応答 3 分

座長：大阪市立総合医療センター 小児血液・腫瘍内科 谷村 一輝

- 1) 14：00 「頭蓋内胚細胞腫瘍におけるメチオニン PET 集積の解釈」

東京女子医科大学病院 脳神経外科 鈴木 茉奈

- 2) 14：10 「再発・難治性頭蓋内混合性胚細胞腫瘍の剖検時ゲノム解析」

京都大学医学研究科 発達小児科学 西尾 周朗

- 3) 14：20 「自然出血による脳ヘルニアで発症した髄芽腫の一例」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 井本 良二

- 4) 14：30 「中枢神経系原発 myeloid sarcoma の一例」

京都府立医科大学 脳神経外科 山中 巧

- 5) 14：40 「反復性化学性髄膜炎を契機に診断され、外科的治療が奏功した小児後頭蓋窩類表皮嚢胞の一例」

順天堂大学病院 脳神経外科 宮原 怜

- 6) 14：50 「13 歳小児小脳腫瘍の 1 例」

旭川医科大学病院 脳神経外科 西海 大樹

- 7) 15：00 「がんゲノムプロファイルにて診断確定した脳腫瘍の一例」

*病理解説あり

兵庫県立こども病院 病理診断科 吉田 牧子

II. 一般演題 15：12-16：38

発表 7 分（病理解説 2 分） 質疑応答 3 分

座長：岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 石田 穰治

- 8) 15：12 「延髄毛様細胞性星細胞腫に対する BRAF/MEK 阻害剤の使用経験：再投与の有効性」

北里大学医学部 脳神経外科 隈部 俊宏

- 9) 15：22 「乳児に初発し自然退縮後、28 年後に再発した Pleomorphic Xanthoastrocytoma に類似した
病理的・分子的特徴を有する左側頭葉神経膠腫の 1 例」

*病理解説あり

北海道大学 脳神経外科 山本 大慈

- 10) 15：34 「BRAF V600E 陽性 high-grade astrocytic tumor with epithelioid/rhabdoid features に対し
放射線治療およびダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法を行った 1 例」

*病理解説あり

静岡県立こども病院 血液腫瘍科 田坂 佳資

- 11) 15 : 46 「組織学的には低悪性度と診断したがメチル化分類では高悪性度と分類された小児前頭葉神経膠腫の 1 例」
埼玉県立小児医療センター 脳神経外科 宇佐美 憲一 *病理解説あり
- 12) 15 : 58 「稀な BRAF 融合遺伝子バリエーションの機能解析による小児グリオーマの新規治療標的同定の試み」
防衛医科大学校 脳神経外科 山本 哲也
- 13) 16 : 08 「視床 UBO 様病変の長期経過観察の重要性：腫瘍として顕在化した症例の経験」
自治医科大学 脳神経外科 宮内 翼
- 14) 16 : 18 「定位腫瘍生検術後に target から離れた部位に腫瘍内出血を認めた脳幹部 diffuse midline glioma の 1 例」
広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学 谷口 洋樹
- 15) 16 : 28 「日本から国際 DIPG/DMG レジストリーへの参加の試み」
新潟大学 脳研究所 脳神経外科 棗田 学

休憩 16 : 38～16 : 45

第 2 部：特別講演 16:45-17:30

座長：埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 福岡 講平

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 科長 荒川 歩先生

「小児がんの子どもに新しい薬を届けるために～ドラッグラグ・ロス解消に向けた取り組み～」

■小児脳腫瘍カンファレンス ホームページ <https://jspno.site/>

■問い合わせ先：小児脳腫瘍カンファレンス 事務局

埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 (Email: ksyouni@saitama-med.ac.jp) TEL:048-401-2200 (代)

